

## 経営基本方針

1. 異常気象に対応し得る技術の平準化と指導力向上と土づくり支援
2. 集荷数量の維持拡大と米販売の強化
3. 土地利用型作物の栽培推進と複合経営による農業所得の向上
4. 生産資材のトータル生産コストの低減
5. 顧客満足度を高めた管内農畜産物の消費拡大
6. 組合員・利用者のニーズに応えるサービスの提供
7. 組合員・利用者一人ひとりに寄り添った安心と満足の提供
8. 信頼確保に向けた法令遵守態勢の徹底と地域共生社会の実現

## 指導事業

### ■営農企画課

#### 重点実施事項

#### 1. 異常気象に対応し得る技術の平準化と指導力の向上

- (1) 営農指導員の現場指導実践研修および外部研修を踏まえ、技術の平準化と指導力の向上を図ります。
- (2) 激しい気象変動を想定し、関係機関と連携のうえ技術対策を講じます。
- (3) 移植、直播栽培における初期の生育量確保を重視した指導に努めます。
- (4) 充実した現地巡回指導を展開しつつ、個別相談にも積極的に対応します。
- (5) 土壌分析、土壌診断を活用し、土づくりおよび施肥設計を提案します。
- (6) リモートセンシング<sup>②</sup>による水稻生育量の把握や可変施肥などのスマート農業<sup>①</sup>関連の試験実証を継続します。
- (7) 営農資材課・農業機械課と情報を共有し、新資材・新技術の実証試験や実演会等を開催し、相互連携を図りながら情報の提供と指導にあたります。
- (8) J A 情報メールを活用した気象・病害虫・技術情報の迅速な発信に努めます。

#### J A 情報メールへの登録方法

jamidori@star7.jp に空メールを送り、登録手続き用のメールを受信したら、必要事項を入力し、登録ボタンをクリックし完了です。  
右のQRコードから簡単に空メールを送れます。



## 2. JA土づくり支援対策の推進

- (1) 土づくり資材の散布量を基準に、米の出荷数量に応じた支援を継続します。
- (2) 土づくりの面的拡大に向け、課題等を抽出しさらなる対策を検討します。

## 3. 需要に応じた米の生産

- (1) 販売需要および気象災害リスクを踏まえ、生産規模に応じた品種構成を提案します。
- (2) 需要に応じた米の生産と経営所得安定対策により、水田フル活用で所得が確保できる需給調整を推進します。
- (3) 水田における需給調整品目は、生産者の所得確保ならびに実需者ニーズを踏まえ、飼料用米を最優先に、加工用米・新規需要米・大豆等への転換を促進します。
- (4) 園芸指導員と連携し、生産組織への研修会の開催などを通じ土地利用型園芸作物の生産振興にあたります。

## 4. 持続可能な水田農業・次世代へつなぐ農政運動の展開

- (1) 水田農業を基盤とした持続可能な農業経営の確立と、若者に魅力ある農業政策の実現に向けた農政運動を展開します。
- (2) みどりの食料システム戦略<sup>③</sup>におけるカーボンニュートラル<sup>④</sup>などの社会実装<sup>⑤</sup>、ならびにSDGs<sup>⑥</sup>の持続可能な開発目標に向けた環境負荷低減対策に関する調査・検討を開始します。

## 5. 関連組織と連携した生産活動および食農教育・米消費拡大の推進

- (1) 農業法人、大規模個人経営、生産組織等への指導・連携を強化し、各種新たな提案を行います。
- (2) 農業法人や大規模経営に向けた有益なスマート農業の取り組みを模索します。
- (3) 農政対協議会・青年部・女性部等を中心とした食農教育活動ならびに米消費拡大関連事業も常に新たな事業展開を模索し取り組みを進めます。

### 用語解説

- ① **【スマート農業】**  
栽培環境の自動制御や自律的な環境対応などの先進技術により、従来型の農業の限界を超えた新しい農業の総称。
- ② **【リモートセンシング】**  
遠隔探査。物を触らずに調べる技術。観測機器（センサ）を人工衛星や航空機（無人ヘリ・ドローン）などに搭載し、上空から作物等を観測したりすること。
- ③ **【みどりの食料システム戦略】**  
農林漁業・食品産業の持続的発展や食料の安定供給に向けて、2050年までの農林水産業の脱炭素化や減農薬、減化学肥料、有機農業割合の拡大などの重要業績評価指標（KPI）を掲げた国の中長期戦略政策。
- ④ **【カーボンニュートラル】**  
温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させるという意味。  
二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの排出量から、植林、森林管理などによる吸収量を差し引いて、合計を実質的にゼロにすること。
- ⑤ **【社会実装】**  
技術で社会を変えようとすることや、技術を活用できる社会にすること。また、得られた研究成果を社会問題解決のために応用・展開すること。
- ⑥ **【SDGs】**  
国連サミットにおいて、すべての加盟国が合意した持続可能な開発目標。  
世界中にある環境問題・差別・貧困・人権問題といった課題を2030年までに全世界で解決に向けて取り組むとした計画・目標。

## ■担い手支援課

### 重点実施事項

#### 1. 担い手の経営発展支援

- (1) 認定農業者や農業生産法人などに対して、※セーフティーネットとして収入減少影響緩和対策（ナラシ対策）などへの加入を推進します。
- (2) モデル法人に対して、関係機関と連携を図りながらプール計算方式への移行を支援します。
- (3) 農業生産組織連絡会議と連携し研修会などを開催し、課題解決・経営改善に向け組織間の情報共有を図ります。
- (4) 園芸課と連携し、農業生産法人へ複合型経営の取り組みを推進します。

※セーフティーネット

あらかじめ予想される危険や損害の発生に備えて、被害の回避や最小限化を図る目的で準備される制度やしきみ。（例：ナラシ対策・農業共済・収入保険制度など）

#### 2. 新たな制度に対応した担い手の育成

- (1) インボイス制度について、関係機関と連携し研修会を開催し周知を図ります。
- (2) インボイス制度の導入に向けて、農業生産法人の従事分量配当制の対応方向を検討します。
- (3) 農業従事者の高齢化や減少を踏まえ、農業生産法人の将来的な関係・広域化・多層化を検討します。
- (4) 農地集積センターと連携し、「人・農地プラン」で明確化された担い手へ「農地中間管理事業」を活用し効率的な農地の集積・集約化を推進します。

#### 3. 次代の担い手への就農・定着支援

令和3年度からスタートした「新規就農等支援対策事業」の推進を図り、円滑な就農促進と新規就農者の農業経営の早期確立、農業生産法人の雇用就農を支援します。また、雇用就農者などの農業技術習得に資する支援を検討します。

# 販売事業

## ■米穀課

### 重点実施事項

#### 1. 米穀集荷体制の維持向上

- (1) J A集荷率の向上に向け、法人および系統外出荷者へ訪問推進を実施します。
- (2) 委託搬入業者と連携し、パレット集荷の地域拡大、取扱い数量の拡大を図ります。

#### 2. 米販売の強化

- (1) 実需からの新品種の提案、選定を検討しマーケットインの取り組みによる、生産者手取りの向上を目指します。
- (2) はえぬきの複数年契約や、作付面積の拡大が見込まれる雪若丸の販売と数量の拡大に組み込み、実需先と継続的な安定販売を図ります。

#### 3. 農産物検査業務の見直し・保管事業の再構築

- (1) 高齢化による農産物検査員の減少を踏まえ、新規検査員の一般募集と、J A職員による資格取得による検査員増員を実施します。
- (2) 令和6年秋稼働予定の「北部ライスステーション」(仮称)の建設を踏まえたJ A農業倉庫および検査場所の集約を検討します。

#### 4. 4年産品目別の取組み計画

【主食用米】全国的な需給環境については、人口減少による需要の減退、また長期化しているコロナ禍の影響もあり在庫の過剰に直面しています。全国的に米の生産量が増加すれば、さらに米価の下落につながりかねない状況にあります。当J Aでは「生産の目安」を目標数量とし、需給の回復と米価の回復を目指します。品種構成についても業務用として「はえぬき」家庭用として「つや姫」を中心に「雪若丸」の直接販売にも力を入れて計画しています。

【加工用米】主食米同様、加工用米についてもコロナ禍の影響により「日本酒」「加工米飯」の需要も全国的に減少しています。3年産加工用米の使用が遅れてはいますが、当J Aと実需先とは、毎年安定した取り組みを継続していることと、はえぬきにおいては特に高い品質の評価をいただいていることから前年同様の取組み面積で計画します。

【飼料用米】全体で約1,600haを目標とし計画しています。販売先の株式会社平田牧場より増産を希望されていることと、交付金による安定的な収入が見込まれることから、「生産の目安」の主食用米減少分約386haについては、飼料用米で計画します。販売価格についても前年同額を予定しています。

【米粉用米】販売先はこれまで同様、栃木県の製粉会社と県内の製粉会社を予定しています。近年小麦アレルギーなどからグルテンフリーが注目され、米粉用米の需要が増加しています。販売先からは増産を要望されていますが、販売価格が低いことが課題となっています。前年同様の面積を計画します。

【輸出用米】新型コロナウイルスの世界的な拡大により輸出は厳しいものとなっていますが、例年、東南アジアを中心に輸出用米を販売展開していることから、昨年と同様の面積を計画します。本年度も加工用米並みの交付金が設定されています。

【大豆】国産大豆の需要は引き続き高い傾向で推移しています。また全国的に大粒品種の生産が増加している中、納豆需要をはじめとして中粒品種の需要が高まっています。各種交付金を活用しながら面積維持と増収を目指します。

【そば】コロナ禍の影響もあり、国産そばの需要は低調に推移していましたが、輸入そばの高騰により国産の需要が回復傾向にあります。北海道産の作柄で販売価格が左右されますが、安定した収量による販売を目指し昨年同面積を計画します。

※昨年度まで水田活用米穀（加工用米・米粉用米・輸出用米）につきましては、生産者の手取りが同様になるように、プール精算を行っていましたが、水田リノベーション事業や、県・市設定など交付金の内容が、多種多様になってきたため4年産の水田活用米穀のプール精算は行いません。

## ■園芸課

### 重点実施事項

#### 1. 土地利用型作物の栽培推進

＜実施具体策＞

(1) 土地利用型作物として「さといも」を選定し、作付け推進を行います。

#### 2. 園芸生産拡大品目の推進

＜実施具体策＞

(1) ミニトマト、アスパラガス、シャインマスカットの生産を拡大し、各品目1億円の販売高を目指します。

(2) パプリカ、ストックの1億円品目の維持向上を目指します。

#### 3. 省力化を目指した農業技術の導入

(1) IOT技術を含めた機械化技術導入を推進します。

※IOTとは、インターネット経由でセンサーと通信機能をもった物（ドローンなど）のことを指します。

#### 4. 選果施設の統合による経費削減

＜実施具体策＞

(1) 複数箇所を選果している品目（メロン、柿、梨、パプリカ）の選果を1施設に集約します。

## ■畜産課

### 重点実施事項

#### 1. 畜産技術・経営の強化

(1) 畜産経営体の生産性向上を推進します。

(2) 大規模経営体への支援を図ります。

(3) 遊休施設の有効利用を図ります。

#### 2. 家畜防疫衛生体制の強化

(1) 家畜疾病対策等の指導の徹底を図ります。

#### 3. 自給粗飼料の確保

(1) 耕畜連携による取り組みを推進します。

## ■総合対策室

### 重点実施事項

#### 1. 農業者の所得増大

(1) 施設園芸拡大支援事業の実施による、高収益型施設園芸の定着化を推進します。

#### 2. 農業生産の拡大

(1) 長ねぎ生産拡大推進事業にともなう、農作業受託事業の継続を図ります。

(2) 農業経営事業による実証展示を継続し、産地形成に資する技術の確立を図ります。

#### 3. 農業労働力の確保

(1) 無料職業紹介事業による、農業労働力の確保に向けた支援を行います。

(2) 種々の媒体を活用した求人情報の発信を行い、潜在求職者の掘り起こしを図ります。

## 購買事業

---

## ■営農資材課

### 重点実施事項

#### 1. 生産資材の安定供給

(1) 保管施設を最大限活用し、価格情勢にも対応した商品仕入れによる価格メリットの追究と商品確保による安定供給に取り組みます。

(2) 予約積上げによるスケールメリットを活かした価格での提供に努めます。

(3) 生産者ニーズに応じた低コスト、省力資材の取り扱いの拡大を図ります。

#### 2. 予約購買の向上

(1) 予約購買によるメリット拡充を図ります。

(2) 訪問も含めた推進と情報提供を行い、予約の積み上げと予約精度の向上に努めます。

#### 3. 店舗業務の集約

(1) 事務の効率化と保管施設を利用し、各資材店舗の業務集約を行います。

(2) 休日営業店舗における、利用者ニーズに対応した品揃えを目指します。

## ■農業機械課

### 重点実施事項

#### 1. 訪問活動とイベントによる農機情報の提供

- (1) 訪問推進と広報誌を活用し最新の農機情報を提供します。
- (2) 展示会への集客により幅広く商品を紹介します。

#### 2. 人材育成と出向く推進、整備修理体制作り

- (1) 整備修理研修の積極的参加と資格取得による整備技術向上を図ります。
- (2) スマート農業・農業融資に関する研修等に参加し営業力の向上に努めます。
- (3) 出張修理車両により利便性と作業の効率化を目指します。

#### 3. 農作業事故・機械故障防止に対する啓発活動

- (1) ポスター掲示・声掛けによる農作業事故防止の啓発活動を行います。
- (2) 農作業時の機械トラブル防止のため、予約点検整備と早期の修理依頼を呼びかけます。

## ■生活特産課

### 重点実施事項

#### 1. 顧客満足度を高めた管内農畜産物の消費拡大

- (1) 産直（インショップ）の生産者の新規加入を勧め、取扱い拡大を図ります。
- (2) 関係機関との連携を密にし、管内農畜産物の消費拡大に取り組みます。
- (3) J A庄内みどりファン倶楽部の拡大と、顧客満足度を高めた活動の展開を図ります。

#### 2. 地域の食と農、健康を支える生活事業の展開

- (1) 「食と農、環境保全」の学習と消費者へのPR活動を女性部と連携を図り活動します。



## ■加工販売課

### 重点実施事項

#### 1. 産地精米のメリットを生かした精米販売拡大

- (1) 生産管理を徹底し、安全安心な精米販売を行います。
- (2) 産地精米のメリットを生かした精米推進を行います。

#### 2. 新たな店舗運営に向けた直売所の活性化

- (1) 直売所（山居館）の利用拡大を図ります。
- (2) 生産者の技術向上および新規加入者の拡大を図ります。
- (3) 青果物の少ない時期に、お客さまのニーズに対応した仕入販売を実施します。

## 信用事業

---

### 重点実施事項

#### 1. 組合員・利用者のニーズに応えるサービスの提供

- (1) ローンセンターの開設により、融資相談機能の充実を図ります。
- (2) インターネットを活用した取引を拡大し、幅広い年齢層の顧客利便性向上に努めます。
- (3) 次世代層が利用しやすい金融商品、相談機能の充実を図ります。

#### 2. 農業・地域・くらしの領域における金融仲介機能の発揮

- (1) 営農や経済、共済との部門間情報共有を図り、お客さまのライフイベントに合った情報の提供を図ります。
- (2) お客さまの幅広いニーズに応えるため、支店金融窓口の営業力強化を目指します。

#### 3. 業務効率化によるコスト構造の見直しと人材育成

- (1) 貸出システムのオンライン化により、審査業務等の時間短縮や事務削減を図り、業務効率化をすすめます。
- (2) 職能に応じた研修会への参加や各種勉強会を実施し人材の育成を図ります。

## 重点実施事項

### 1. 組合員・利用者一人ひとりに寄り添った安心と満足の提供

- (1) 保障・サービスの一体的展開を通し「ひと保障」の取組み強化に向け、認知症共済（新設）や医療共済の案内を契機とした複数分野加入の取組み強化を図ります。
- (2) 各世代のニーズを踏まえ、生活保障・万一保障に関わらず全方位的にニーズを捉えた保障・サービスの提案を行っていきます。
- (3) 利便性向上に向けて、Webマイページなど非対面による手続き・接点の拡大・強化を図ります。
- (4) 農業リスク診断を通じた最適な保障・サービスの提供を行っていきます。
- (5) 組合員・地域住民との繋がり強化に向け、地域・農業活性化積立金を活用した取り組みを行います。

### 2. 共済事業の長期安定的な展開

- (1) 全契約者への3Q訪問活動<sup>\*</sup>・未加入組合員などへのはじまる活動の実践を行います。  
※3Q訪問活動とは、サンキュー（感謝）の意味も込め、①ご家族の皆さまにお変わりないかの確認（入院等の有無の確認）②ご契約の保障内容の確認 ③ご家族の皆さまの保障点検の3つの質問（クエスチョン）を行うことで安心と満足感を提供する活動です。
- (2) LA・スマイルサポーターによる活動を基軸とし、非対面ツールの活用や他部門との連携による活動の実践を行います。
- (3) Webマイページ、ペーパーレス、キャッシュレスなどによる事務手続きの簡素化に取り組みます。

### 3. 利用者満足度向上への取り組みおよびコンプライアンス態勢強化等による信頼性の向上

- (1) 「組合員・利用者の声」を把握・共有し、利用者満足度の向上・改善に取り組みます。
- (2) コンプライアンス重視の意識醸成に取り組みます。
- (3) 適正な事務手続きの定着に取り組みます。
- (4) 高齢者対応の取組強化に取り組みます。

# 経営管理

## ■総合企画部

### 重点実施事項

#### 1. 持続可能な地域・組織・経営基盤の確立

- (1) 組合員が安心して豊かに暮らせる「JAくらしの活動」を展開し、JAと組合員との関係強化に努めます。
- (2) 将来の経営環境を踏まえた持続可能なJA経営基盤の確立・強化を図ります。
- (3) 支店を中心とした地域活性化と情報発信に努めます。

#### 2. 地域に根差した将来を担う人材育成・確保と働きやすい職場環境づくり

- (1) 組合員の負託に応えられる優秀な人材の確保に努めます。
- (2) 職員の資質向上に努めます。
- (3) ワークライフバランスの推進に努めます。
- (4) 地域貢献活動の実践に努めます。

#### 3. 財務基盤の強化と信頼確保のための法令遵守の徹底

- (1) 不良債権化の未然防止に努めます。
- (2) 不祥事未然防止のために、内部統制の構築と浸透に取り組みます。
- (3) コンプライアンス・プログラムに基づく確実な実践に努めます。
- (4) 新型コロナウイルスの感染防止対策に取り組みます。

## ■福祉課

### 重点実施事項

#### 1. サービスの質の向上によるサービス基盤と人的基盤の整備

- (1) 各介護保険事業所の安定運営実現のため、利用者満足度を高め実施します。
- (2) 各事業の特性を活かし、サービスの質を高めます。
- (3) 人材の確保・定着と専門性を活かす人材育成をすすめます。



#### 2. 安心してくらせる居場所づくり、社会参加をサポート

- (1) 「JA健康寿命100歳プロジェクト」活動を実践します。
- (2) 通いの場（「多機能ハウス 結い」および「グループホーム 結い」）を活用した居場所づくりを行います。
- (3) 地域共生社会に向けた事業検討を行います。

### 3. 助けあい組織の基盤整備

- (1) 「JA健康寿命100歳プロジェクト」活動の健康づくりや通いの場での居場所づくりの活動などを組織が実施主体となり行えるようにすすめます。

## ■監査室

### 重点実施事項

#### 1. 法令順守に基づく内部体制の検証と指導の強化

内部統制確立に向けて自主検査の実施状況・運用状況と、リスクに対応じた監査を行い内部管理の検証と指導を図ります。

#### 2. 監査技術の向上と関係機関との連携

研修会の参加により監査人の資質と監査技術の向上に努めるとともに、監事・監査法人と情報を共有し効果的・効率的な監査を図ります。

## ■各支店目標

### 酒田中央支店

変動する時代背景の中で、常にお客さまから求められる金融機関として、組合員、地域住民、取引企業の期待に応えられるようサービスの向上に努めてまいります。

- (1) 幅広い来客層に対応した接客サービス、待ち時間の短縮、窓口推進に努めます。
- (2) 3Q訪問活動を通して契約内容や請求漏れなどの確認をしながら、お客さまの万が一に備えられるよう「ひと・いえ・くるま」保障の提案を行います。

### 酒田きた支店

組合員・お客さまの顧客満足度をさらに追求します。

- (1) 地域金融機関として魅力ある店舗づくりに努めます。
- (2) 推進目標の早期達成とLA、窓口の的確な対応に努めます。
- (3) 米、大豆の栽培技術指導の強化とスマート農業を実践します。

### 酒田ひがし支店

組合員・利用者に信頼と満足の得られる支店を目指します。

- (1) 真摯で誠実な対応を心掛け、信頼・親しまれる店舗運営に努めます。
- (2) 契約内容の確認と未請求事案の解消に努め、組合員・利用者から安心していただける契約者フォロー活動を展開します。
- (3) 複雑化する交付金の仕組みを把握して組合員の相談に対応と最新技術の実証試験を行います。

## 酒田みなみ支店

柔軟かつ的確で責任感のある職員の育成とそれができうる態勢を構築します。

- (1) 明るい挨拶で、お客さま目線に対応できる店舗を目指します。
- (2) 地域に密着した親切・丁寧・迅速な対応を心掛けます。
- (3) 育苗などの巡回指導を実施し、安定収量確保対策を実施すると共に指導員のスキルアップに努めます。

## 遊佐支店

組合員・利用者に信頼され、必要とされる支店づくりに努めるとともに、安定生産による持続可能な農業の展開をすすめます。

- (1) お客さまのニーズに対応できる体制づくりに努めます。
- (2) 来店客に対して、丁寧な対応を心がけ、契約者満足度の向上に努めます。
- (3) 営農指導の強化と広域型法人の課題解決に努めます。

## 八幡支店

組合員・利用者から信頼される思いやりのある支店づくりに努めます。

地域社会への貢献活動に取り組みます。

組織が成長するための人材育成に努めます。

- (1) 組合員や地域の方、若年層や新規のお客さまなど幅広いお客さまのニーズに応えられるように商品知識の向上に努めます。
- (2) 「ひと・いえ・くるま」の総合的な推進活動ができる知識を身につけます。
- (3) 米の品質・収量の向上と集荷数量の確保に努めます。

## 平田中央支店

組合員やお客さまへの丁寧できめ細やかな対応や地域に密着した活動に積極的に参加します。

- (1) 事務ミスの防止やお客さま満足度の向上に努めます。
- (2) 仕組みや知識の取得と契約者満足度の向上に努めます。
- (3) 収量および品質向上の取り組みと円滑な集荷体制強化に努めます。

## 松山支店

組合員満足度の向上を支店全体で取り組みます。

- (1) 笑顔で迎えて、組合員・利用者から頼られる金融窓口を目指します。
- (2) 暮らしの中で家族と一緒に安心できる保障を提供します。
- (3) 土づくりを推進し、高品質・良食味・収量増を目指します。

# (株) みどりサービス

---

## 重点実施事項

### ■葬 祭

#### 求められる最良のお別れの場を提案

ウィズコロナ時代に適応した葬儀の対応を前提に、「弔う」ことの意義と本質を後世に繋げていく提案を行ってまいります。

### ■自動車

#### お客さまに選ばれ、支持される事業運営

自動車業界を取り巻く環境変化に柔軟に対応し、お客さまが求めるニーズに確かな技術を提供します。

### ■燃 料

#### 非接触型ツールを導入した体制の強化

目まぐるしく変化するサービスに対応し、お客さまに満足いただける燃料情報を提供します。

### ■ガ ス

#### 地域密着の事業活動、法令順守

毎日の生活に不可欠なライフラインとして、お客さまに安全・安心・信頼と、きめ細やかなサービスを提供します。

### ■マルノー山形 (食品)

#### 《開発営業》基幹となる醤油・味噌の販路拡大

地元食材にこだわったマルノー商品を、県内外へ積極的な営業活動で展開してまいります。

#### 《製造》消費者へ安心でおいしい食品提供

商品を効率的に、かつ安全で衛生的に生産することにより、健康で豊かな生活づくりに貢献します。

### ■管 理

#### 事故・クレーム・不祥事ゼロ運動の強化と法令順守

お客さまからの信頼を得る事業運営を実現させるため、経営の透明性を確保するとともに、社員が最高のサービスを提供できるよう、人材育成や業務効率の向上に努めます。